

情報モラル研修 1 (1部)

情報モラル教育とは

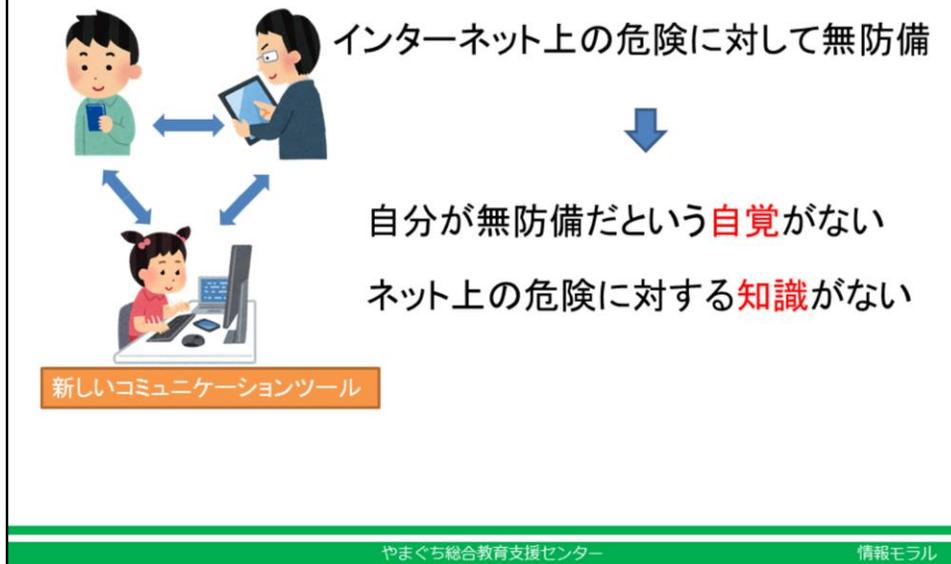
情報モラル研修会を始めます。
テーマは「情報モラル教育とは」です。
(★)

研修のゴール

情報モラル教育の概要やねらいを知り、情報モラル教育の必要性について理解する。

なぜ、今、情報モラル教育が叫ばれているのでしょうか。
また、情報モラルとはどのようなものでどのようなねらいがあるのでしょうか。
本研修のゴールは、『情報モラル教育の概要やねらいを知り、情報モラル教育の必要性について理解する。』です。
(★)

1. 情報社会と児童生徒の利用の実態



情報社会の進展により、携帯電話やパソコンなどを通じたインターネット利用の普及が急速に進む中、その流れは小中高生まで広がり、新しいコミュニケーションツールとして利用するようになりました。

誰もが情報の送り手と受け手の両方の役割を持つようになる情報社会では、情報が瞬時に世界中に伝達され、予想しない影響を与えてしまうことや、対面のコミュニケーションでは考えられないような誤解を生じる可能性も少なくありません。

インターネットの世界では、携帯電話やパソコンを通じてコミュニケーションを開始した瞬間に、見えない人とのつながりや社会との接点が生じてしまうのです。

(★)ところが、多くの子どもたちはインターネット上の危険に対して無防備な状態です。

(★)しかも、自分が危険な目に遭いかねない状態であることも分からずに利用しています。

(★)何気なく書き込んだ個人情報や悪気のない掲示板への書き込みが世界中に発信されていることや、書き込んだ情報は記録され、ネット上にいつまでも残る可能性があること、悪質な書き込みが犯罪となったり訴えられたりするケースもあるというような知識すらもっていない子どもたちが多くいます。

(★)

2. なぜ、情報モラル教育が必要なのか



これまで、子どもたちは、家庭や学校でのしつけや道徳教育などで段階的に日常的なモラルを身に付けてきました。

しかし、

(★)情報化社会の到来とともに、子どもたちが携帯電話やスマートフォンなど自分専用のインターネット接続端末を持つようになると、未成熟なまま世界とつながることとなり、

(★)ネットいじめや架空請求、ネット依存など従来のもラルでは解決できない新たな課題が子どもたちを取り巻くようになりました。

技術開発があまりにも早すぎるため、これまでは想定できなかった場面に直面する機会が増えているのです。こうした社会を生き抜くためには、危険をうまく避ける知恵を与えると同時に新たなルールやマナーを考える力を養う必要があるのです。

(★)それが情報モラル教育が担う役割なのです。

(★)

従来のモラル

- 人が嫌がるようなことは書き込まない
- うその情報は書き込まない

情報モラル

- ネット上には匿名性はない
- 書き込んだものは回収不可能
- なりすましに気を付ける
- ID・パスワードの管理



やまぐち総合教育支援センター 情報モラル

例えば、子どもたちは自分の身近な記事や話題を不特定の人が閲覧する掲示板に書き込むようになりました。

(★)そこでは、「人が嫌がるようなことは書き込まない」や「うその情報は書き込まない」など、従来のモラルによる指導も必要ですが、

(★)「ネット上には匿名性はない」「一度書き込んだことは回収できない」「なりすましに気を付ける」「ID・パスワードを管理する」など新たな知識やルール・マナーを身に付けさせる必要がでてきました。

(★)

3. 情報モラル教育の目標

情報手段をいかに上手に賢く使っていか、
そのための判断力や心構えを身に付ける

情報社会の特性の一側面である影の部分を理解

情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を育成

では、情報モラル教育が目指すことはどのようなことでしょうか？
大きく二つあります。

一つ目は

(★)『情報手段をいかに上手に賢く使っていか、そのための判断力や心構えを身に付ける。』ということです。

あふれる情報の中から取捨選択をし、情報を活用していくには、その情報が本当なのか嘘なのかを正しく判断する力や心構えを育てることが大切です。

二つ目は

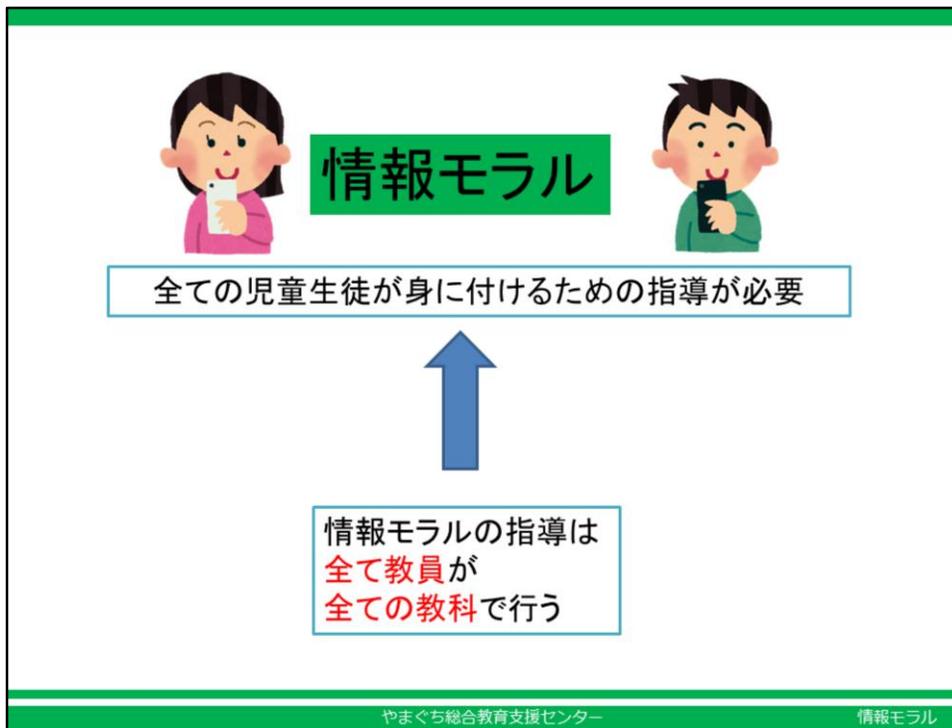
(★)『情報社会の特性の一側面である影の部分を理解する。』ということです。

ネット上の情報は光の部分と影の部分があります、光の部分よりよくできるように影の部分の理解と対処法を身に付ける必要があります。

まとめると

(★)情報モラルは情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を育成することです。

(★)



このように、情報モラルは

(★)全ての児童生徒が身に付けなくてはならないものなのです。

そして、

(★)その指導は全ての教員が全ての教科で行わなければなりません。

(★)

2部では、ネットトラブル事例について、どのような指導をすれば予防できるかについて考えてみましょう。

2部では、ネットトラブル事例について、どのような指導をすれば予防できるかについて考えてみましょう。

(★)